



道下美里選手がパラリンピックで金メダルを獲得しました！



9月5日に行われた東京2020パラリンピック競技大会女子マラソン（視覚障害T12）競技で、本市在住の道下美里選手が見事金メダルを獲得しました。（2016年リオデジャネイロ大会での銀メダルに続き2大会連続）

「リオ大会での忘れ物を取りに来た」と臨んだ東京大会。当日は競技開始前から雨が降る悪条件のなか、持ち前の力強いピッチでペースを掴み他選手の追従を許さない走りで見事悲願の金メダル獲得となりました。

ゴールの瞬間には日の光が射し、まるで道下選手を祝福しているようでした。



9月9日に市役所を訪れた道下選手は、楠田市長に金メダル獲得の報告を行いました。

その中で道下選手は、

「競技当日はペースプラン通りに展開し、勝負どころを見極めることができました。思い描いた通りのレース展開でした。」と当日を振り返りました。

練習では1日60km以上、2週間で500km以上走って鍛えたそうですが、「大会当日までのつらい練習やコロナ禍での多くの葛藤の日々に、4月の激励会の時に皆さんからいただいた7,000通もの応援メッセージの一つひとつを家族やチームスタッフなどが読み上げるのを聞いたことで、気持ちが切れずに頑張ることができました。」と話しました。

楠田市長は「明るくパワフルな姿勢で臨まれる姿に多くの市民が感動しました。誇らしく、皆の励みになります。市を代表してお祝いを申し上げます。」と述べました。

多くの勇気、そしてとびきりの笑顔に日本中が感動と元気をもらいました。

道下選手、ありがとうございました！

